

ベトナム溶接研究会 第9回研究会(ベトナム・ハノイ市他)

勝又 美穂子

グローバルD&I推進室 准教授

2023年6月26日(月)、ベトナム・ハノイ市ハノイ工科大学及び近郊のタンロン III 工業団地(ビンフック省)にて第9回ベトナム溶接研究会を開催しました。ビンフック省はハノイ市の隣の省であり、工業団地は車で約1時間の地域に位置しています。今回は、第一部にハノイ工科大学にて学術研究講演を、第二部に2社の日系企業工場見学を行いました。今回は第一部、第二部共に30名程のご参加がありました。

第一部では、当研究所藤井 英俊所長より、「いくつかの**新規固相接合法**—世界の最先端—」というタイトルで最新の技術研究について講演がありました。溶かさない接合、がキーワードとなり、低温で接合することで金属の変態が起らず強度を保つことのできる摩擦攪拌接合(FSW)、線形摩擦接合(LFW)等数種類の固相接合法をご紹介頂きました。講演後には会場より様々な質問があり、最新技術研究への興味の強さが伺えました。

午後には第二部としてビンフック省タンロン工業団地 III にて、始めに Yamamoto Metal Precision Vietnam (山本金属) を訪問しました。同社は培った金属加工の技術を応用し、様々な機器の開発、

製品製造、サービスの提供を行っています。工場見学では、中でも同社が開発したセンサー搭載の摩擦攪拌接合(FSW)装置のデモンストレーションを見学し、装置に取り付けられたセンサーによりリアルタイムで接合部の温度や圧力等が測定され、モニターに表示される様子を見ることが出来ました。

次に同じ工業団地内にある Daiwa Plastics Thang Long (大和合成) の工場を訪問しました。同社はプラスチック製品を製造しており、小型から大型まで多数の成型機が揃う工場の様子は他ではなかなか見ることができない貴重なものでした。プラスチックの成形に利用する金型の補修・修理にはレーザー溶接が使われる等、溶接技術が様々な場面で活用される幅広さを感じる見学となりました。

非常にお忙しい中、両社には多数のスタッフのご協力の下、丁寧な会社説明、及び工場案内を実施いただきましたことに改めて御礼申し上げます。

ベトナム溶接研究会は今後も産学連携の強化及びベトナムにおける溶接技術向上と技術者育成を目的として、こうした活動を継続的に実施致します。今後も企業及び関係大学からのご理解とご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



第一部 藤井所長講演



JFE スチールベトナム 芳木社長 第一部閉会



第一部集合写真



第二部 Yamamoto Metal Precision Vietnam 工場見学後集合写真



第二部 Daiwa Plastics Thang Long 工場見学後集合写真